

校友会大阪府支部 総会ニュース



2011年11月
早稲田大学校友会
大阪府支部発行
大阪市北区芝田1-1-35
(大阪新阪急ホテル3階)
TEL06-6377-2001



メロディを披露する吹奏楽団（大阪市北区・大阪新阪急ホテル）

本年度幹事に41人

摂陵高OG 美音を披露

早稲田大学校友会大阪府支部の2011年度定期総会が11月13日（日）、大阪市北区の大阪新阪急ホテルで開催された。大学本部から鎌田薫総長、校友会本部の福田秋秀代表幹事を来賓に迎え、140人の校友が出席した。総会前には、茨木市の早稲田摂陵高ウィンドバンドOGによる吹奏楽演奏もあり、校友らは美しい音色に酔いしれた。

同校の吹奏楽コースの生徒から成るウィンドバンド



挨拶する角支部長



講演する鎌田総長

は全日本コンテストの金賞を受賞し、ヨーロッパ公演も重ねている全国屈指のマーチングバンド。同校が2009年より早稲田大学の系属校となったのを機に、OGでつくる「みつばち会吹奏楽団」を初めて総会に招いた。この日は24人が出演し、応援歌「紺碧の空」や「上を向いて歩こう」を含むメドレーなど5曲を演奏し、喝采を浴びた。

続いて、鎌田総長が「早稲田大学の明日を考える」のテーマで、島善高教授は「大隈重信と近代日本」と題してそれぞれ講演した。校友のほか、現役学生の保護者や早大進学を希望する受験生の保護者らも参加し、早大の過去と未来について聞き入った。

総会では、角和夫支部長が早大出身の野田佳彦首相が就任したことに触れ、「危機の時の早大」と総長の講演を受けた形で挨拶。2010年度決算や11年度予算などを審議し、東日本大震災で被災した学生を支援する大学本部の「WASEDAサポーターズ倶楽部」に支部として百万円を寄付することを決めた。また、大阪府内で活動する稲門会のネットワーク化を進めることや地域社会の発展に寄与する事項を推進すること、早稲田摂陵中・高校との連携を深めることなどの11年度活動計画を承認した。

幹事は2年の任期を迎えた51人から21人に減員して新たに選任。昨年改選した幹事と合わせ、計41人になった。幹事長は石戸稔氏（80年政経）が退任し、小林一則氏（80年政経）を選んだ。